

令和2年度事業報告書

公益財団法人 但馬ふるさとづくり協会

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材を育成するため、次の事業を行った。

1 但馬ふるさとづくり大学事業

但馬ふるさとづくり大学の開催

但馬の自然・歴史・文化など多様な地域資源を活かした地域づくりの学習を通して、新しい但馬づくりの担い手を育成するため15講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全受講者を対象とした座学講座は全て中止となった。

- ① 実施講座 選択講座である現地講座4講座と但馬検定の計5講座
- ② 受講者数 延べ90人

開催日	内 容
4/25(土) 中止	〈開講式〉 共通① まつりがつくる人と地域 講師 森 隆男 氏 (元関西大学文学部教授) 共通② 感動を生むのは、期待を上回るおもてなし 講師 大坂 雄吾 氏 (山城の郷施設長)
5/23(土) 中止	選択① 地域づくり現地講座 養父市八鹿町宿南地区 ～池田草庵と青谿書院を活かした地域づくり～
6/6(土) 中止	選択② 地域づくり現地講座 豊岡市中央町 カバンストリート ～「かばん」を活かしたまちの再生と魅力を高める取り組み～
7/4(土)	選択③ 地域づくり現地講座 朝来市山東町与布土地区 ～地域商社で守るまちの未来～
8/22(土) 中止	共通③④ 但馬文教府第53回夏期大学－特別講座－
8/29(土) 中止	共通⑤ たじま・まちづくりカフェ～防災意識の自主的な再編～ アドバイザー：山室 敦嗣 氏 (兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科教授) 事例報告：台風23号の被災を経験した住民による防災組織の自主的な再編
9/13(日)	共通⑥ 第15回但馬検定試験

9/22(祝)	選択④ ものづくり現地講座 香美町村岡区長須地区 ～「長須の紙漉き」と持続可能な地域コミュニティ～
9/30(水)	選択⑤ ものづくり現地講座 豊岡市出石地区 ～地域と深く結びついた伝統産業「出石焼」～
10/31(土)	選択⑥ 地域づくり現地講座 新温泉町諸寄地区 ～歴史と文化を守る地域づくり～
11/11(水) 中止	選択⑦ ものづくり現地講座 朝来市山東町矢名瀬町地区 ～但馬の風土が育てた「但馬杜氏」と矢名瀬の街並み保全～
12/5(土) 中止	共通⑦ なぜ人口2千人の田舎町に3千人のランナーが集まるのか？ 講師 久保井 洋次 氏 (みかた残酷マラソン全国大会実行委員長) 共通⑧ 遊びの中に学びがある 講師 前田 敦司 氏 (NPO 法人かなべ自然学校代表) <閉講式>



(朝来市山東町与布土地区：現地講座)



(香美町村岡区長須地区：現地講座)

2 未来を担う人材育成事業

(1) たじま探検バスツアー

但馬の優れた技術を持つ企業や魅力的な地域をバスで移動しながら、体験し、学べる機会を小学生に提供するため、県民局と連携して実施する予定であったが、参加募集期間中に但馬初の新型コロナウイルス感染者が出た影響で中止となった。

開催日	主な内容
8/29(土) 中止	①但馬の農業・畜産体験 (県立北部農業技術センター) ②造形ワークショップ (あさご芸術の森美術館) ③道の駅のお仕事探検 (株グリーンウィンド) 募集人員 20名 (小学校5～6年)
9/26(土) 中止	①太陽光パネルのお仕事探検 (株キヅキ商会) ②出石焼絵付け体験 (永澤兄弟製陶所) ③演劇ワークショップ (江原河畔劇場) 募集人員 20名 (小学校5～6年)

(2) 高校生特派員等養成事業

高校生自身の携わっている地域活動の魅力を「発見」「表現」「情報発信」する力を身に付ける目的で出前講座を計画していたが、休校やコロナ禍の影響で実施できなかった。また、新温泉町役場からインスタ特派員に任命された浜坂高校の生徒と連携し、ウェブサイト「但馬情報特急」のふるさと特派員コーナーを活用して高校生自身が取材した記事を発信した。

3 但馬検定事業

(1) 第15回但馬検定の実施

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外へその魅力を発信するとともに、但馬を訪れる人々に対するおもてなしの向上につなげることを目的に実施した。

① 試験日 令和2年9月13日(日)

② 試験場所 県立但馬長寿の郷、豊岡稽古堂

③ 試験結果 () 前回結果

問題 100 問 100 点満点	上級の部 (1 級・2 級共通)		初級の部	計
	1 級(80 点合格)	2 級(60 点合格)	3 級(70 点合格)	
受検者数	49 人(55 人)	30 人(29 人)	41 人(58 人)	120 人(142 人)
合格者数	17 人(21 人)	14 人(25 人)	32 人(39 人)	63 人(85 人)
合格率	34.7%(38.2%)	46.7%(86.2%)	78.0%(67.2%)	52.5%(59.9%)
平均点	70.3 点	57.5 点	79.4 点	
最高点	97 点	90 点	98 点	
最年少合格者	32 歳 (38 歳)	23 歳 (29 歳)	20 歳 (14 歳)	
最高齢合格者	76 歳 (75 歳)	72 歳 (76 歳)	71 歳 (73 歳)	

④ 特 徴

- ・事前講習会の代わりに但馬検定コラムを但馬情報特急に連載。
- ・1 級試験で 76 歳の方が合格され、過去 3 番目 (79 歳、77 歳) の高齢合格。
- ・2 級試験で、高得点者と低得点者に 2 極化し、合格率が大きく下がった。
- ・3 級試験で、約半数の受検者が 85 点以上で合格。



(但馬長寿の郷試験会場)



(豊岡稽古堂試験会場)

(2) 検定PR事業

但馬検定をPRするため、但馬検定コラムを但馬情報特急に連載して、検定に向けた学習ポイントの解説を行った。

また、但馬検定公式サイトで過去問チャレンジコーナーを新設して但馬検定への受検意欲を高めた。

① 但馬検定コラムの連載

連載期間（令和2年7月17日～9月11日）の間に9回連載

② 過去問から厳選した但馬検定模擬試験コーナーの新設

3級《初級編》と1級・2級《上級編》で分野ごとに出題

(3) ウェブサイト「ザ・たじま」の開設・運営

「ザ・たじま」のウェブサイトを開設し、子どもを含めた幅広い世代が但馬の地域情報を楽しみながら学べる機会を提供した。

① 但馬検定の関連情報の提供

募集要項、検定対策、但馬検定Q&Aなど

② 小中学生でも楽しく取り組めるミニクイズ「たじま知ってQ」

旧1市18町単位にランダムで10問出題

③ ウェブ版但馬事典「ザ・たじま」の情報更新

④ アクセス数等（R2.7～R3.3末現在）

・ユニークアクセスPV数 119,302件

・ユニークアクセス訪問者数 8,119人

II 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行った。

1 地域情報発信事業

(1) ウェブサイト「但馬情報特急」の運営・充実

ウェブサイト「但馬情報特急」を活用し、但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を多分野にわたり収集し、提供した。

① 但馬情報特急のアクセス数等（R2.4～R3.3末現在）

・ユニークアクセスPV数 866,764件（前年880,493件）

・ユニークアクセス訪問者数 373,167人（前年303,010件）

・モバイルからのアクセス率 55.7%（前年57.6%）

・SNSからのアクセス数 18,054件（前年21,804件）

② たじま途中下車の旅ブログページの制作

県民局と連携して、但馬の鉄道各駅から散策できるモデルコースを策定し、ブログ記事を掲載した。

・掲載数 24駅（R2.7～R3.3末現在）

- ・ユニークアクセス PV 数 23,855 件
- ・ユニークアクセス訪問者数 17,747 人



(2) 但馬ツーリズムマップの発行

但馬の多彩な魅力を発信し、交流人口を増やすことを目的に、但馬ツーリズムマップを発行した。

また、引き続き、広告掲載による経費節減を図った。

- ① 部数 10,000 部
- ② 配布先 観光協会、道の駅、観光施設、宿泊施設など

(3) 情報誌「T2」の発行

但馬の魅力を様々な切り口で紹介するとともに、但馬地域内の観光・イベント等の各種情報を発信するため、情報誌を発行した。

- ① 発行時期 年3回〔夏号（7月）、秋冬号（11月）、春号（3月）〕
- ② 発行部数 各7.5万部
- ③ 仕様 A4中綴じカラー印刷（20ページ）
- ④ 配布先 但馬内7万部、但馬外5千部配布
但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、旅行会社、報道機関など

2 但馬ファンクラブ事業

但馬の魅力をPRし、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図るため、但馬ファンクラブを運営するとともにイベント会場などで会員を募集した。

(1) 加入状況

	但馬内	但馬外				合計	1年 会員	3年 会員
		県内： 但馬除	近畿内： 県内除	近畿外	小計			
R2.3末	770	652	311	148	1,111	1,881	888	993
R3.3末	727	570	290	161	1,021	1,748	817	931
増減	△43	△82	△21	13	△90	△133	△71	△62

(2) 会員向け事業

- ① 施設利用（R3.3月末223施設）の割引等が受けられる会員パスポートの発行
- ② 但馬の情報誌等（T2、パンフレット）の送付
- ③ 但馬の特産品、スイーツのプレゼント
年3回、計150名に特産品が当たるプレゼント企画を実施。
・応募総数 952名
- ④ 但馬内のミュージアム等無料招待券配付
但馬内の美術館等に無料で入館できる招待券を提供。
・実施期間 4月4日（土）～11月29日（日）
・対象施設 玄武洞ミュージアム、たじま高原植物園 ほか7施設
・利用者数 285人

(3) 入会のPR活動

各種事業とのコラボレーションにより会員獲得に努めた。

- ① 但馬検定事業との連携
1級、2級合格者への特典 新規加入 27名
- ② 播但道路利用キャンペーンとの連携
応募者の中から抽選 新規加入100名
- ③ 但馬空港推進協議会との連携
応募者の中から抽選 新規加入200名
- ④ 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会との連携
遠方からの鉄道利用者に対してプレゼント 30名
- ⑤ その他イベントでのPR活動
冬のまほろば祭り（R2.11.23）に出展

3 たじま田舎暮らし推進事業【県民局委託分】

(1) 移住相談員の配置

たじま田舎暮らし情報センターに移住相談員を配置し、U・Iターンを考えている者への移住相談や各市町、兵庫県宅地建物取引業協会と連携した物件紹介等の移住支援を行った。

(2) オーダーメイドツアーの実施

U・Iターン希望者の個々の要望にきめ細かく対応できるオーダーメイドツアーを実施した。

今年度は兵庫県の方針で府県をまたぐ移動の自粛期間が累計3ヶ月間あり、ツアー希望者の受け入れを保留するなどの影響があった。

- ① 実施回数 6回
- ② 参加者数 参加者数6組8名 うち1名新温泉町に移住予定（R3.3末現在）
（前年度同時期実績：実施回数9回、参加者数9組17名）

(3) 移住情報の発信

たじまU・Iターン情報サイト「ひょうご北部で暮らす」で情報発信をするとともに、オンライン移住フェアに参加して、但馬地域の田舎暮らしに関する情報を提供した。

- ① ウェブサイトによる情報発信 (R3.3 未現在)
 - ・ユニークアクセスPV数 52,215件 (38,194件) 前年同期比 136.7%
 - ・ユニークアクセス訪問者数 23,493件 (15,815件) 前年同期比 148.5%
- ② 移住マッチングを行っているサイト(SMOUT)を活用した情報発信 (R3.1~)
 - ・先輩移住者を交えたオンライン相談のPR
 - ・但馬地域のオンライン移住相談会開催のPR
 - ・たじまWEB企業説明会のPR
- ③ オンライン移住フェア等への参加 (R3.3 未現在)
 - ・オンライン全国移住フェアほか8回、相談件数10件

(4) オンライン移住相談会の開催

但馬地域の魅力を発信するとともに、各市町や関係機関と連携して仕事や住まいについてワンストップで相談対応する但馬独自のフェアを予定していたが、コロナ渦の影響で開催できず、代替イベントとして実施した。

- ① 実施日 令和3年1月23日(土)～25日(月)
- ② 参加者 15組

(5) たじまWEB企業説明会2022との連携事業

但馬地域の企業が参加するWEB版企業説明会と連携し、U・Iターンを検討している新卒予定者などを対象に、但馬暮らしについての疑問・悩み相談を行った。

- ① 実施日 令和3年3月7日(日)～8日(月)
- ② 参加者 2組

Ⅲ 会議の開催

公益財団法人但馬ふるさとづくり協会定款の規定により、理事会及び評議員会を開催した。

1 理事会

(1) 第61回理事会

- ・期日 令和2年6月4日(木)
- ・場所 豊岡稽古堂

(2) 第62回理事会

- ・期日 令和3年3月1日(月)
- ・場所 じばさんTAJIMA

2 評議員会

(1) 第22回評議員会

- ・期日 令和2年6月30日(火)
- ・場所 豊岡稽古堂

(2) 第23回評議員会

- ・期日 令和3年3月23日(火)
- ・場所 豊岡稽古堂